

梅雨の時期を迎え、ジメジメとした雨が止んでいる時には、散歩へ行き、色とりどりの紫陽花を見つけたり、屋上では水遊びをしたりして、楽しんでる子どもたちです。

しいの実組

今年度はコロナの影響により異例のスタートでお家のおもご心配されているかと思いますが、ようやく15日より、不安はあるものの通常保育が始まりました。これから毎日、保育園に通う事で、子どもたちは少しずつ環境を知り、保育者と信頼関係を築いていければと思います。

お父さん、お母さんと一緒に



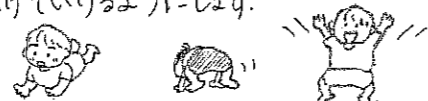
今まで家で過ごしてきた生活を引き継ぎつつ、保育園の生活リズムをお家の方と話しながら作ってきたいと思っています。子どもを真ん中に共に成長を喜び、悩みがあれば一緒に考えていきたいと思います。

たっぷり遊ぼう



散歩に行き、花や犬に出会ったり、風や季節の移り変わりを感じたりと、ゆったりと過ごす中で五感を働かせることを大切にします。また色々な人と出会い、関わることで、たくさんの刺激をもらうこともできます。まずは保育者との信頼関係を大切に、子どもの世界を広げていけるようにします。

首が回る～一人歩きまで



この時期はめまぐるしく変化していく身体発達を丁寧に手足の力、背筋力等、身体づくりをしていくことが大切です。遊びの中で喜びを感じて身体を動かしていけるようにします。

離乳食の始まり



おっはい、ミルクから離乳食が始まり初めての味に出会っていく時期です。舌の動きや食べる時の姿勢にも気を付けて栄養面だけでなく、「おいしい」「食べることで楽しいね」と心も満足できるよう、子どものペースに合わせて進めていきます。

たのしいな♪

天気の良い日は4人乗りバギーに乗って、保育園の周りを散歩しています。まだ慣れない頃は、バスのクラクションの音に驚いたり、バギーに乗ったりするだけで泣いていました。最近ではバギーに乗ると気持ち良さそうに眠りについたり、ヘリコプターの飛んでいる音を聞いて「何？」というように目を見開いたりしています。車の通らない道ではバギーから降りて紫陽花の花を近くで見たり季節をゆくりと感じています。散歩から帰ると園庭で幼児クラスの子もたちが遊んでおり、気づいた子どもたちがかけ寄ってきて「何て名前なん?」「あ、こち見たはる!」と興味津々に関わってもらっています。たくさん人や場所から刺激をもらい、過ごしている子どもたちです。もうすぐ7月になると水遊びを楽しみます。夏ならではの遊びを子どもたちのペースで、ゆくり楽しんでいこうと思います。

お散歩、大好き

新入園児8名、在園児5名で始まった2020年度のたんぽぽぐみです。5月に1名の新しいお友だちと、新型コロナウイルス感染拡大防止により、本格的な保育が、この6月中旬から始まりました。慣れない環境に涙していた子どもたちでしたが、この頃は、笑顔いっぱい、自分の好きなあそびを見つけて楽しんでます。そして、保育室が一気に賑やかになりました。

6月は毎日のように、散歩に出かけました。戸外が大好きな子どもたちは、散歩に行くことが分かる、とても嬉しそうに帽子を取りに行く姿があります。

ダンゴムシ探しや、路地でふらふら散歩を楽しみます。ダンゴムシへの関心も深まり、決まったところで、日課のようにアオムシを探しています。ちゅうちゅうを見つけると、嬉しくて興奮気味です。触れなからたダンゴムシにも少しずつ手を伸ばして触ろうとする毎日です。待て待てあそびも、かくれんぼも大好きです。「まてまて」と追いかけられると、「ひゃー」と笑顔で逃げて行き、建物のかけにかくれば、後ろから来る友だちを「ワ」とおどかさせて楽しんでます。

これから、雨が降ると散歩に出かけることができなくなり、お天気と相談しながら、出かける時には、出かけたかと思っています。出かけられない時には、保育園には幸い屋根つき園庭があるので、そのような日には、園庭に出て、泥んこあそびや砂あそび、水あそびを楽しみたいと思います。泥んこあそびをした時には、水洗いした服をお返すことになり、洗たくをお願いいたします。

今年度のたんぽぽぐみは、やりたいことを見つけて考えてあそび、ひとりひとりが主役となつてあそべるように保育したいと思っております。5月、6月、よろしくお願いいたします。

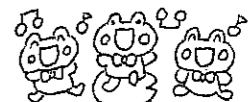
生活リズム

- お家では、何時に寝て、何時に起きていますか?
- 早寝早起きはできていますか?
- 朝ごはんは、食卓で落ちついて食べていますか?
- 大人中心の生活になっていませんか?
- 休日は、どのように過ごしていますか?



早寝早起きは、何時ぐらいにお考えでしょうか? 子どもの夜の睡眠は、10時間程度必要で、夜8時から朝6時の間が望ましいとされています。早寝すると「早起き」になり、早起きすると、お腹空いて「朝ごはん」を食べられるようになります。しっかり朝ごはんを食べれば、身体も心も満たされて、午前中、身体を動かし、頭(脳)を使うこともいっぱいできます。すると、身体も頭も疲れて、自然と早寝になります。登園する日だけでなく、毎日元気に健康的に過ごすために、日々、早寝早起きが習慣になるよう、無理のない程度で少しずつ生活リズムをととのえてあげてはいかがでしょうか。

新型コロナウイルスの影響で休み協力をしてもらっていた子どもたちもいました。6月後半から全員がそろい、にぎやかになってきました。今年度は感染予防の為に、園外保育や様々な行事が延期や中止になっています。行ける範囲での散歩や園庭遊びなど、戸外で自然と触れあい、たくさん身体を動かしていきたいと思っています。戸外に出ると、ちようちよやダンゴムシなどの虫に興味を示しています。クラスでキュウリやオクラを育て始めたので、皆で水やりをして、「大きくなるかなあ」と見ています。また、生活の中で衣服を着がえる子どもも増えてきています。少し難しい子どももいますが、衣服の着脱を丁寧に伝え、自分で少しずつできるようになるといいなと思っています。子どもたちの中には、まだ遊びたい気持ちが強くなかなか片付けに気持ちが向かない子どもの姿もあります。しばらく様子を見て、やがて自分から片づけるようになってくるので、自分から気持ちの切り換えが出来るように見守っていきたいと思います。



水あそび・泥んこあそび

暑い日が続いている中、屋上では、水あそびをして遊んでいます。水が入っているタライに手を入れて、「冷たい」と言ったり、ジョーロに水を入れて、流しながら水の感触を楽しんだりしています。保育者にも水をかけたり、友だち同士でも関わりあったりして遊ぶことが増えてきました。

園庭では見立て遊びをして、「だんご屋さんですよー」と元気な声が聞こえてきます。大きなふるいのおもちゃで型抜きをすると、ケーキの完成です。地面に水たまりが出来るとジャンプで飛びこえようとします。中には、自分から水たまりの中にダイブする子どももいて、遊びが広がります。



ことばのやりとり

最近では「おうちでママと遊んだ」と話したり、友だちと「～した」「～だったよ」と会話を楽しんだりしています。2歳から3歳にかけて、子どもたちの言葉はいろいろ豊かになってきます。大人に話して聞いてもらえることがとても嬉しいのです。このころには絵本も少し長めのストーリーのものを好むようになり、絵本に出てくることばのリズムに反応しています。これからもことばのリズムを大切に、真似をしたくなるような素敵な絵本に多く出会い、そこから言葉でのやりとりに繋がってほしいと思っています。

みずぐみからのお願い

子どもたちの衣服の中には、名前が書いていないものや薄くなってしまったものもあります。分かりやすい所にはっきりと名前を書いておいてください。また、今後も泥あそびや水あそびをしたり、7月からプールも始まりますので、ロッカーの箱の中に1枚以上は予備の身体拭きタオルを入れておいてください。今年度 よろしくお願ひします。